



その
2

総務部

沖縄コミュニティ・ アイランド事業

—— 知念村・久高島 ——



沖縄は、広大な海域に数多くの離島が点在する島しょ県であり、離島の活性化を図っていくことは、沖縄の振興にとって重要な課題の一つとなっています。

このため、内閣府沖縄振興局では、現在第三次沖縄振興開発計画に基づき、離島の持つ特性と住民の創意を活かして活力ある地域社会を形成するための諸施策を積極的に進めて

いるところです。

「コミュニティ・アイランド事業は、離島の特性を活かした観光レクリエーション施設等の整備を行い、他地域の人々との交流を推進し、明るい開かれた「コミュニティ」の形成に資することを目的に平成二年度から実施されているもので、九年度からは従来の施設整備事業に加え、新たに「イベント等を通して他地域との交流の推進を図ることを目的とした、沖縄離島交流推進事業」を実施するなど、その拡充が図られているところです。

ここでは平成十年度及び平成十一年度の事業として実施された知念村久高島の「ニラーハナー・ロマンアイランド」について紹介します。



離島体験宿泊交流施設・民俗資料館
(ニラーハナーハウス・イザイボの館)

知念村久高島

「ニラーハナー・
ロマンアイランド」

久高島は、沖縄本島知念岬の東方約五、三kmの太平洋上に浮かぶ人口約二百五十名の平坦な島で、神の島としても広く知られています。久高島では年間三十余の神事・祭祀があり、それらの行事はいずれも「神観念」が強く、神々は東方の彼方から訪れてくるものと信じられていることから、神事・祭祀の際は東方海上へ「ニライカナイ（ニラーハナー）」に向かって祈願しています。

「ニラーハナー・ロマンアイランド」は、このような「神の島」として独特の文化遺産を有する久高島の特性を活



特産品展示即売施設及びレストラン（まゝーさ処・龍宮）

かしたレクリエーション施設や島の高齢者が経験した伝統行事を語る場所及びデイサービスセンターとしての機能も備えた地域間交流型施設を中心に整備したものです。

施設総面積は二千十八^mで、離島体験宿泊交流施設・民俗資料館（ニラーハナーハウス・イザイボの館）を始め、特産品展示即売施設及びレストラン（まゝーさ処・龍宮）、遊歩道、散策すると素敵なカブルが誕生するという言い伝えのあるロマンロード（などが整備され、観光等による地域活性化を図ると同時に他地域との交流の促進により、「明るい開かれた島づくり」に貢献する事業として期待されています。



遊歩道（ロマン・ロード）